

平成31年度 取組計画

- ・秋田市・・・・・・・・・・・・・・1
- ・横手市・・・・・・・・・・・・・・3
- ・湯沢市・・・・・・・・・・・・・・5
- ・大仙市・・・・・・・・・・・・・・7
- ・仙北市・・・・・・・・・・・・・・9
- ・美郷町・・・・・・・・・・・・・・11
- ・羽後町・・・・・・・・・・・・・・12
- ・東成瀬村・・・・・・・・・・・・・・13
- ・秋田県総務部・・・・・・・・・・・・15
- ・秋田県建設部・・・・・・・・・・・・16
- ・秋田地方気象台・・・・・・・・・・・・17
- ・東北地方整備局・・・・・・・・・・・・19

平成31年4月22日
第7回 雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会

■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 施設の点検による維持管理（各部局）

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施

⇒ TV会議による雄物川洪水対応演習

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ 秋田市水防訓練の実施

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 雄物川流域の各小学校を対象にした防災教材の提供（日新、豊岩、四ツ小屋小予定）

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ 要配慮者利用施設の所有者等への避難確保計画の作成支援

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用

⇒ 雄物川下流における避難勧告の発令等に着目したタイムラインの自主防災組織等

への周知・啓発（防災講話、避難訓練ほか）



防災講話



避難訓練

平成31年度の取組計画（秋田市）

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・ 想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
⇒国土交通省が実施する浸水想定区域内の変更に伴う業務
- ・ 住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
⇒防災ネットあきたへの登録推進、防災FMラジオの貸与先の拡充
- ・ 想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知
⇒国土交通省が実施する浸水想定区域内の変更に伴う業務

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
⇒ 雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会への参加
- ・ 関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
⇒秋田市水防訓練の実施
- ・ 重要水防箇所の合同巡視
⇒国や関係機関等とのパトロールの実施
- ・ 水防資機材の保有状況の確認
⇒水防倉庫の確認

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・ 関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
⇒秋田市水防訓練の実施



秋田市水防訓練

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○簡易水位計等の基盤整備

⇒ なし

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ なし

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
 - ⇒ 8月下旬 横手市総合防災訓練を予定（大雨による災害発生を想定）
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 - ⇒ 市内中学校での防災マップ作り授業。 ※1校が実施予定
 - ◇教育委員会が主体となり、特定非営利活動法人秋田県防災士会と連携
 - ◇H33年度（2021年度）までに市内全ての中学校（6校）で実施完了予定
- ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
 - ⇒ H31年度中の作成、訓練の実施を促す



■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・ 想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
⇒ 講評済み。市HP上からダウンロード可能であることを周知する
- ・ 想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知
⇒ 各種訓練、防災講話、地元コミュニティFM等を活用し、周知を図る。



■ソフト対策【ねばる】

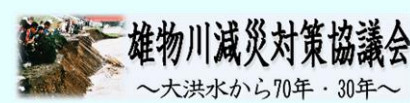
②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
⇒ 6月上旬 横手市水防訓練を予定
◇各種水防工法を実施予定（訓練項目は検討中）
- ・ 重要水防箇所の合同巡視
⇒ 5月～7月
- ・ 水防資機材の保有状況の確認
⇒ 年度内/水防資材のほか、災害備蓄品についても併せて調査



平成31年度の取組計画（湯沢市）



■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 各種計画及びマニュアルの整備及び改訂

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・自主防災組織の設置、指導及び育成に係る研修会の実施

⇒ 継続して推進

・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施

⇒ 平成31年度「洪水対応演習」への参加（4月又は5月実施予定）

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ 自主防災組織をはじめとした地域住民が主体となった防災活動団体に対する積極的な支援の実施

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 市内小中学校及び保育施設を対象とした防災講話を実施

出前講座による防災講話を継続して実施

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ 継続して支援

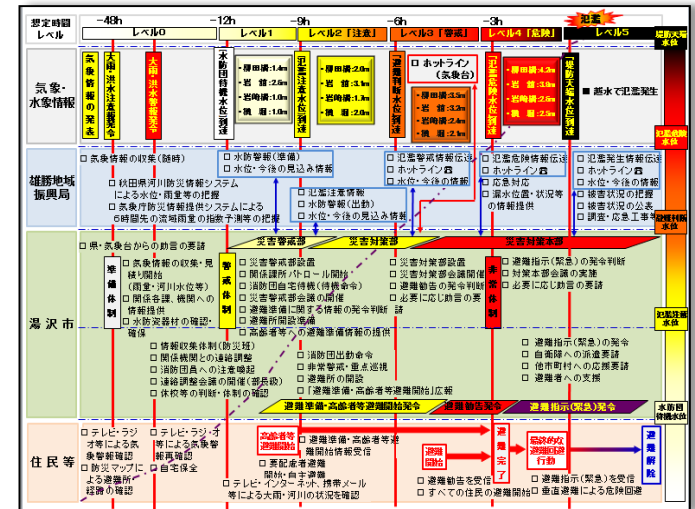
○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用

⇒ 市民への周知徹底と必要に応じた見直し



湯沢雄勝地区水防訓練



湯沢市版タイムライン

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（緊急防災メール、SNS等）
 - ⇒ 昨年度策定の実施設計に基づき、**防災行政無線施設整備工事を実施（2021年3月運用開始予定）**
- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知
 - ⇒ **地域毎細分化した防災マップの作成・配布**

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒ 継続して連携
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒ **平成31年6月2日（日）水防訓練を実施**（湯沢市角間地内）
（シート張工法・各種積み土のう工法）
- ・重要水防箇所の点検
 - ⇒ 5月又は6月に重要水防箇所合同巡視
- ・水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒ 状況確認を実施し、水防資機材整備計画を作成



防災行政無線施設整備



重要水防箇所合同巡視

■ハード対策 (避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備)

○水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- ⇒内水対策の**常設排水ポンプ1基の改修工事**の実施 (仙北地域)
- ⇒**可搬式排水ポンプ8インチ2基、救助用ボート1艘の購入**

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

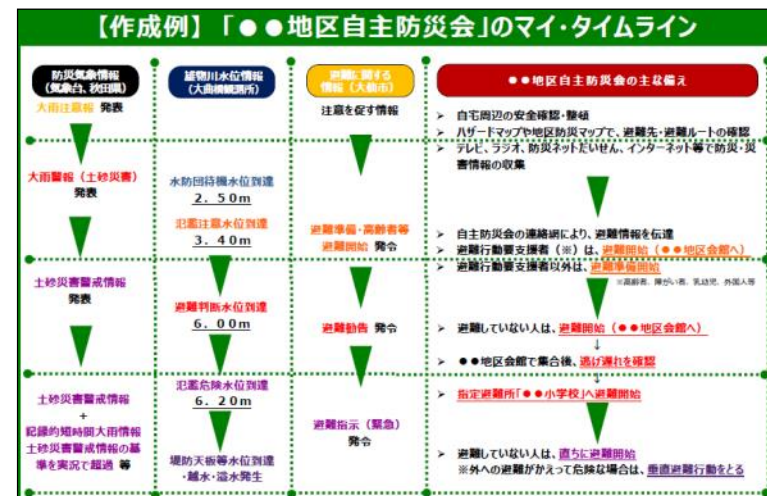
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 - ⇒**中学校等における避難所開設訓練**などの実施 (継続実施)
 - ⇒西仙北中学校を主会場に**水害を想定した総合防災訓練**の実施 (8月開催)
- ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
 - ⇒避難確保計画の作成は昨年12月に100%達成
 - ⇒**避難訓練の実施と報告を促進** (継続実施)・・・前年度60/127施設で実施

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・ハザードマップの作成・周知
 - ⇒HP等による周知 (継続実施)
 - ⇒**自主防災組織毎の「地区防災マップ」作成促進 (継続実施)**
- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用
 - ⇒**自主防災組織毎の「マイ・タイムライン」作成促進 (新規事業)**



自主防災組織毎の「地区防災マップ」の作成例



自主防災組織毎の「マイ・タイムライン」の作成例

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充
（登録制メール,防災ラジオ,TV,インターネット,スマホアプリ,HP,SNS等）
- ⇒「**防災ラジオ**」の無償配布（継続実施）
- ⇒「**登録制携帯メール**」、「**Yahoo! 防災速報**」の登録促進（継続実施）
- ⇒SNSによる情報発信「**FB**」（継続実施）、「**twitter**」（**新規実施**）

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
- ⇒**水防講習会**の実施（継続実施）6/2実施予定
- ⇒国交省と連携した「**洪水対応演習（5月）**」「**危機管理演習（11月）**」の実施
- ⇒秋田県と連携した**福部内水門での情報伝達訓練**の実施（継続実施）
- ・重要水防箇所の合同巡視
- ⇒5～6月に**国、県との合同巡視**を予定（継続実施）
- ・水防資機材の保有状況の確認
- ⇒保有資機材の確認と水防団による**土嚢作成、土嚢備蓄**の実施（継続実施）
- ・**田んぼダム**実施に向けての検討及び推進体制の確立（新規）



水防講習会の様子



土嚢作成の様子と備蓄している土嚢

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○再災害防止対策事業

⇒前年度に引き続き、過去に災害等で被災した箇所については原状回復にとどまらず、同じ場所で同じ災害が繰り返されないよう原因を取り除く対策を行う。

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒業務継続計画を独立した計画として完成させ、重要な業務を継続して遂行できる体制を整える。

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒自主防災組織立ち上げの推進を図り、地域毎の緊急避難場所までの避難経路の確認を行う。

- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒市内各中学校等が行う、避難訓練に積極的に関わり、仙北市の自然災害について指導助言を行いながら訓練の支援を行う。

- ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び訓練の促進

⇒継続実施。特に浸水想定域内の施設に対し、避難確保計画策定の支援として作成例を再度発出。

避難訓練実施の際に支援を行う。

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目したタイムラインの運用

⇒継続実施

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
 - ⇒ 防災行政無線について聞こえない、うるさいといった市民の声に対応するため、費用対効果に配慮した新たな災害情報伝達方法を検討する。
- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知
 - ⇒ 現在運用中のハザードマップは作成から10年以上経過しており、今後、県管理河川の最大浸水想定域について見直しが行われた後、更新する予定(H32年度)

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒継続実施
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒水防団に対する水防講習会の実施と水防訓練。連絡体制の確認
- ・重要水防箇所合同巡視
 - ⇒継続実施
- ・水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒継続実施

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ **美郷町業務継続計画（BCP）を運用中**

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災行政無線、防災ラジオ、防災メール）

⇒ **防災行政無線、防災FMラジオ、防災メールの運用および動作確認**

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒ **新たな危機管理型水位計運用開始予定（4月1日）**

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒ **出水期前に各種水防工法の訓練を実施**

・水防資機材の保有状況の確認

⇒ **出水期前に水防倉庫及び各消防ポンプ庫の水防資機材保有数を確認**

水防工法訓練（ロープワーク）



水防工法訓練（川倉工法）



■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
- ⇒ **住民参加による直轄河川重要水防箇所共同点検の実施を予定**

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目したタイムラインの運用
- ⇒ 継続運用

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
- ⇒ **防災行政無線の更新並びに防災ラジオ導入を検討予定**
- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知
- ⇒ **ハザードマップを想定最大規模の浸水区域で更新、全戸配布する予定**

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
- ⇒ 継続実施
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
- ⇒ H31.6.2 湯沢市及び東成瀬村との合同水防訓練を実施予定
- ・重要水防箇所の合同巡視
- ⇒ 直轄河川の重要水防箇所の合同点検に参加予定
- ・水防資機材の保有状況の確認
- ⇒ 継続実施

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒東成瀬村業務継続計画の運用

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒女性消防団員による、防災教室の実施

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒当該施設に対し、訓練の促進

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用

⇒継続運用



女性消防団員による
なるせ保育園防災教室
（平成30年3月8日）

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
⇒防災行政無線の維持管理、新規格に対応した移動系無線機の整備
- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知
⇒地域防災マップ作成支援

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
⇒湯沢市及び羽後町との合同水防訓練の実施予定
- ・重要水防箇所の合同巡視
⇒雄勝地域振興局建設部と合同巡視を実施予定



平成30年度湯沢雄勝地区
水防訓練
(平成30年5月27日)

平成31年度取組予定（秋田県総合防災課）

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ H31.9.1（予定） 県総合防災訓練を実施（男鹿市、大潟村）

大雨災害等を想定した避難、避難所開設等

- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 自主防災アドバイザーの派遣、出前講座、気象防災ワークショップ等を継続実施

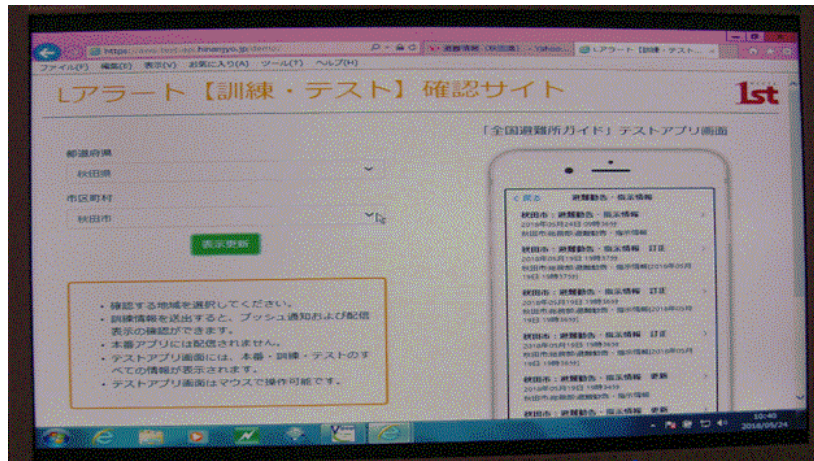
■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

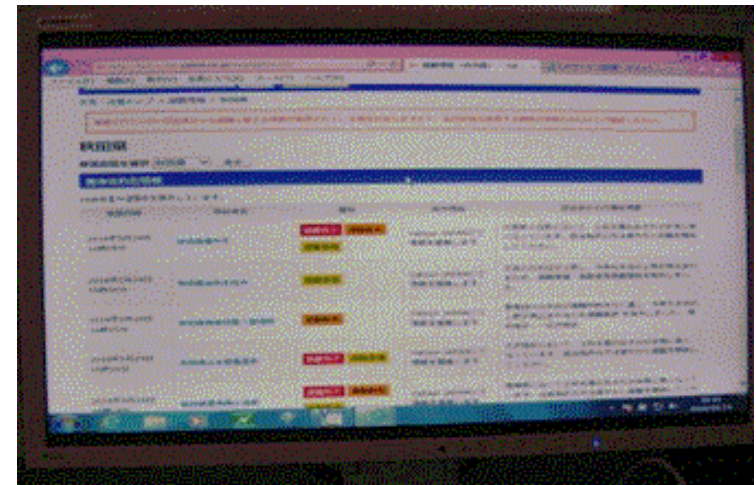
⇒ H31.5.22（予定） 「Lアラート」の配信訓練の実施



H30.5.24 防災情報アプリ「全国避難所ガイド」による情報伝達



H30.9.2 県総合防災訓練における避難所の運営（北秋田市）



H30.5.24 Yahoo Japan 避難情報による情報伝達

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○河川監視カメラの整備

- ・避難行動を支援する河川監視カメラの整備
⇒ H31～

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域の公表
⇒ H30～ 水位周知河川について、順次作成
H31.3月 三種川完成

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
⇒ H29.6～ 県管理河川減災対策協議会における防災情報の共有
- ・重要水防箇所等の合同巡視
⇒ H30.5～ 県管理河川の重要水防箇所について合同巡視を予定
- ・水防資器材の保有状況の確認
⇒ 秋田県水防計画に基づく水防資器材の確保と数量の確認

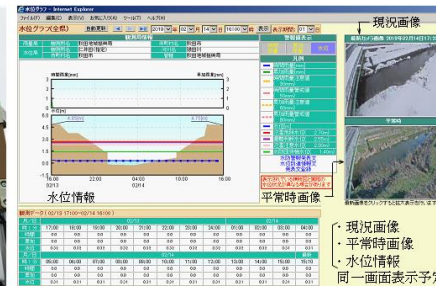
○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
⇒ 大仙市と連携した福部内水門及び排水ポンプ車操作訓練を実施

河川監視カメラと画像公開イメージ



河川監視カメラ（イメージ）



画像公開イメージ

排水訓練及び情報伝達訓練(仙北)



排水ポンプ車：30m³/min

【配備】
H23出水を契機に、H24年度に
仙北地域振興局に配備



排水訓練状況



情報伝達訓練状況

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○簡易水位計等の基盤整備

⇒ 取組対象外

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 取組計画なし

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施

⇒ 平成31年度も各機関で防災訓練等の実施の際は是非参加・協力させて頂きたい。

平成31年度も気象庁防災ワークショップ(中小河川洪水災害編)・(土砂災害編)の開催を予定

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ 取組計画なし

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 平成31年度も自然災害全般に関する防災教育について、教育機関と連携し実施予定。

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ 現時点では取組計画なし

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用

⇒ 取組計画なし

・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）

⇒ 平成31年度も防災気象情報は機会あるごとに解説を行い利活用促進に努め、大雨(浸水)、洪水の注意報、警報の発表

基準はより適切な判定結果となるように最新の災害データを基に見直しを行う

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・ 想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
⇒ **取組対象外**
- ・ 住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
⇒ **取組対象外**
- ・ 想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知
⇒ **取組対象外**

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
⇒ **平成31年度も出水期前までに県内市町村の防災担当者を訪問予定**
- ・ 関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
⇒ **取組対象外**
- ・ 重要水防箇所の手回し巡視
⇒ **日程等、都合がつけば参加をさせて頂きたい**
- ・ 水防資機材の保有状況の確認
⇒ **取組対象外**

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・ 関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
⇒ **取組対象外**

■ハード対策

- 洪水氾濫を未然に防ぐ対策
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

○堤防整備

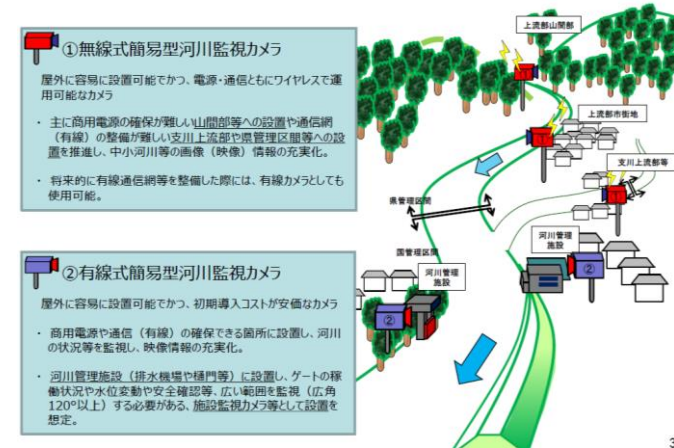
⇒ 秋田市新波地区、大仙市福部羅地区、大仙市強首地区、大仙市寺館・大巻地区、大仙市中村・芦沢地区、大仙市間倉地区他【継続】

○河道掘削

⇒ 秋田市小山地区【継続】

○簡易水位計等の基盤整備

⇒ 洪水に対してのリスクが高い区間に簡易型河川監視カメラ設置（全36基予定）【新規】



簡易型河川監視カメライメージ

■ソフト対策【動かす】

- ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
⇒ ロールプレイング形式の危機管理演習を開催予定（大仙市及び関係機関）【継続】
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
⇒ 流域市町村全校において、防災教育資料の試行を展開（関係機関共同実施）【継続】

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用
⇒ 平成29年7月・8月洪水、H30.5洪水及び危機管理演習結果等を踏まえたタイムラインの見直し（関係機関共同実施）【継続】



H30危機管理演習実施状況（左：湯沢市、右：湯沢河川国道）

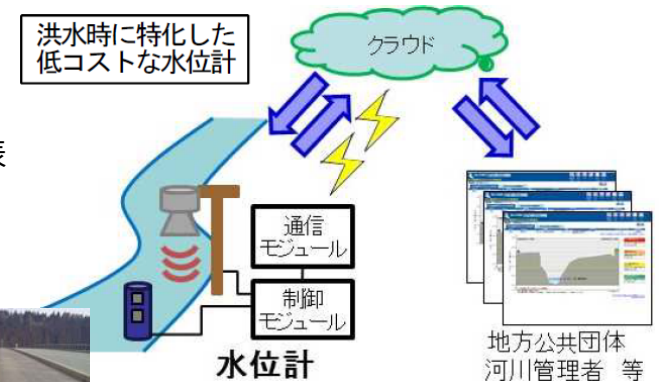


タイムラインの見直しイメージ

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・ 想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
⇒ ハザードマップ作成に必要な電子データを提供支援【継続】
- ・ 住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
⇒ プッシュ型メールによる住民への情報提供及び周知広報を実施【継続】
⇒ 危機管理型水位計の運用開始（全21基）【新規】
⇒ 水害リスクラインに基づく水位予測等の公表（予定）【新規】



危機管理型水位計イメージ



設置事例(強首橋)

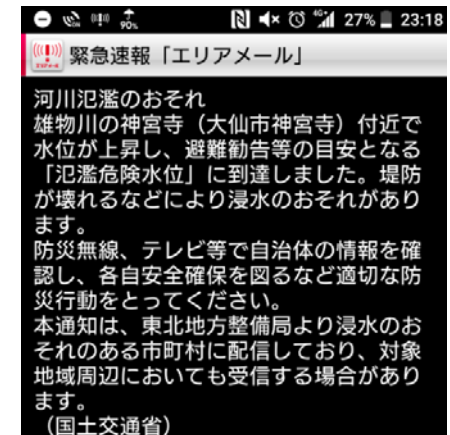
■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
⇒ 秋田県 情報集約配信システムによる情報共有【継続】
- ・ 重要水防箇所の合同巡視
⇒ 関係機関（水防団、各市町、秋田県、東北地方整備局）合同による重要水防箇所点検【継続】
- ・ 関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・ 関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
- ・ 排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した氾濫時の緊急排水計画（案）を作成
⇒ 長期にわたり浸水が継続する地域において、地域社会をいち早く復旧させるための排水計画（案）を作成・公表（予定）【継続】



H30.5.18配信されたプッシュ型メール（大仙市神宮寺地区）



H29重要水防箇所の合同点検(左:秋田市、右:横手市)